（第三種郵便物認可）

中部経済新聞

# 名古屋経済

Nagoya Bu

◇ボナンザメイド・イン・ナゴヤが靴オーダーフェア◇

ボナンザメイド・イン・ナゴヤは11日、名古屋市中区栄３の18の１・ナディアパークデザインセンタービル４階の国際デザインセンタークリエーターズショップ・ループで「靴のオーダーフ

名古屋の靴作りの職人が手作た靴。上質な本革を使用した靴

今後、４月15日、５月13日に

## 海外就業体験 受け入れ倍増

### アイセック・ジャパン

### 名古屋でも企業前向き 来年度は30人に

### 一体感とやる気アップ

世界最大の学生団体の日本組織、アイセック・ジャパン（事務局＝東京都）が行う海外インターンシップ（就業体験）交換事業が、名古屋で盛り上がりを見せている。11年４月から12年３月までの11年度に受け入れ可能な海外インターンシップ生は前年度の2倍以上にあたる14人に達する見通し。来年度は30人を目指している。企業にとっても、社内の活性化や従業員のモチベーション向上につながるという。

（山田和幸）

アイセックは、国際社会を担うリーダーの輩出を目的に、世界１０カ国の国や地域で活動している。日本法人は、62年に設立され、今年で50周年を迎える。東海３県では、名古屋大学と名古屋市立大学、南山大学などの学生が参加している。

今年度、中部地区で受け入れ学生14人の計65人に達する見通し。前年度の計36件と比較すると、約1・8倍に増加する。来年度は、受け入れ、送り出し人数ともに増え、合計１３０人を目指している。

幼児向け玩具や教材の企画販売を手掛けるハッピーチャイルド（本社名古屋市中区）は11年12月から、ポーランドでデザインを学ぶ海外インターンシップ生、カロリーナさん（28）を初めて受け入れた。

３カ月間のインターンシップ期間を終え、広島大三社長は「会社に一体感が生まれ、社内の雰囲気が良くなった」と語る。従業員からは「意思疎通を行うため、英会話を学ぶモチベーションが生まれた」「アーティストを目指していた頃の初心を思い出した」など前向きな意見が聞こえた。

来年度以降、海外インターンシップ生を受け入れる企業数は、さらに増える見通し。すでに、10人以上の新規受け入れを検討している業界もあるという。

初めて海外インターンシップ生を受け入れたハッピーチャイルドの社内（写真左端がカロリーナさん）

## 中部圏に観光客取り込め

### 「昇龍道プロジェクト」中部運輸局など設立総会

推進協議会設立の目的を説明する中部運輸局の甲斐正彰局長（中央）

中部運輸局などは9日、名古屋マリオットアソシアホテルで「昇龍道プロジェクト」の設立総会を開き、中部9県の行政や観光関係256団体から296人が参加した。

中部、北陸信越の両運輸局は今年1月、能登半島を龍の頭に見立て、中部北陸9県の観光エリアを「昇龍道」と名付けた観光推進プロジェクトを発表した。中部圏へ主に中国や台湾からの観光客を取り込むのが狙い。

中部9県が一体となって観光資源のプロモーションや受け入れ環